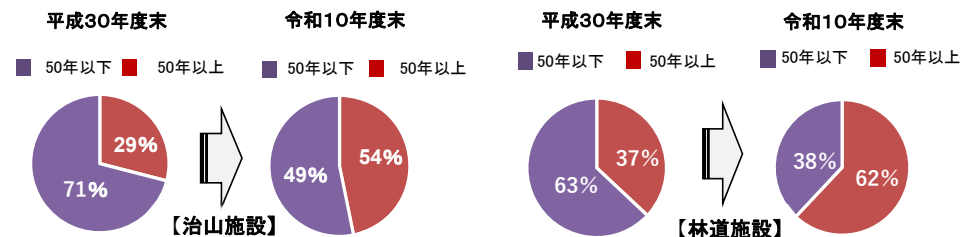


長寿命化対策

◆ 高度成長期以降に集中的に整備され、老朽化が進行している治山・林道施設の適正な機能の確保と維持管理に要するトータルコストの縮減を図るため、**長寿命化対策を計画的に実施**

□現状課題

整備後50年以上を経過する治山・林道施設の割合は、令和10年度末には50%を超え、今後老朽化の更なる進行が見込まれる



施設名	総施設数 (基・箇所)	H30年度末		R3年度末		R10年度末	
		50年経過施設数	割合 (%)	50年経過施設数	割合 (%)	50年経過施設数	割合 (%)
治山施設 (谷止工)	21,394	6,998	29%	9,605	45%	11,659	54%
林道施設 (林道橋など)	555	205	37%	246	44%	343	62%
合計	21,949	7,203	33%	9,851	45%	12,002	55%

予防保全の観点から、損傷や劣化が進行する前に適切な対策を行い維持管理に要するトータルコストの縮減や予算の平準化を図る長寿命化対策が必要

□施設の長寿命化計画

施設の点検・診断結果に基づき、対策内容、時期等を定めた**長寿命化計画を策定**

【長寿命化計画による施設の補修・更新箇所数】

単位：箇所

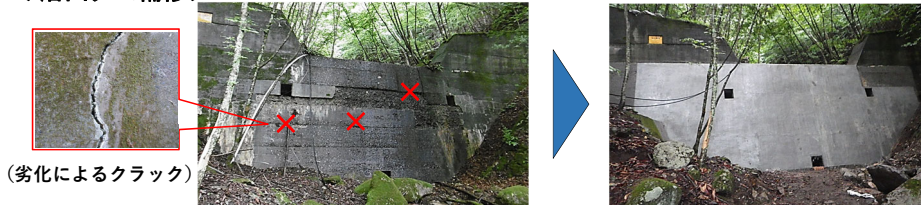
施設区分	H30	R1	R2	R3	R4
治山施設	9	17	8	3	5
累計	87	104	112	115	120
林道施設	5	8	12	12	12
累計	145	153	165	177	189

□長寿命化対策実績（R1～R3）

■ 治山施設

治山施設の長寿命化計画に基づき、早急な対策が必要な**28施設の対策を実施**

< 治山ダム補修 >



■ 林道施設

林道施設の長寿命化計画に基づき、早急な対策が必要な**32施設の対策を実施**

< 林道橋梁補修 >



